



船外機もはずれ水浸し（白井漁港）



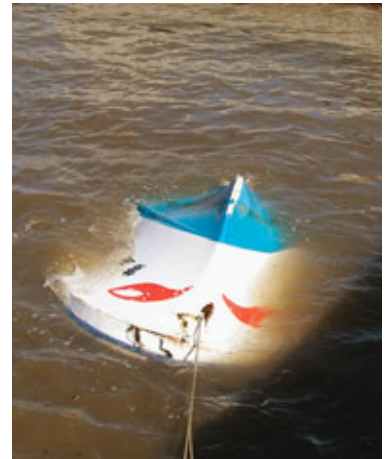
転覆した漁船を引き上げて見ると真っ二つに。考えられない光景です（白井漁港）



高波で破損した船揚げ機（沢漁港）



ネダリ浜レストハウスも壁や窓が破損



堀内漁港では係留されていた漁船が1隻転覆しました



秋サケ魚が再開され活気づく太田南部市場。一家を支える海の男たちは大漁を願うばかりです

しかし、漁家の皆さんは「今年は換え網がない状況での漁が続く。また、しけがあつたら大変だ」これから盛漁期を迎えるが、大型クラゲが来ないといいが「など不安材料が続く中、大漁を願う網を起こし続けます。」

現在では、やっと網の補修も終え、秋サケ漁が行われ市場も活気づいてきました。

破損した定置網、壊れた漁船、荒れ果てた漁港……。水産・漁港関係だけで被害額は約6億円。全体の98%を占めました。

特に被害が大きかったのは、盛漁期を迎えていた秋サケの定置網と磯建網。全部流失したものと大破したものなど被害額は約4億円にも昇ります。ワカメの養殖施設も40台が流失し24

0万円、漁船も全損が4隻、一部破損が17隻で10000万円の被害に及びました。被害調査がまとまった10月26日、深渡宏村長、熊谷聰村協議会議長、鎌倉賢一村漁協組合長らが久慈地方振興局や県に、定置網被害復旧のための無利子の融資や漁家に対する支援について要望し、漁家救済に全力を挙げて取り組んでいます。

## 大漁願うばかり 村「漁家の救済に全力」